



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

成年男子1回戦

長崎 107

29 - 13  
28 - 20  
23 - 23  
27 - 17  
○

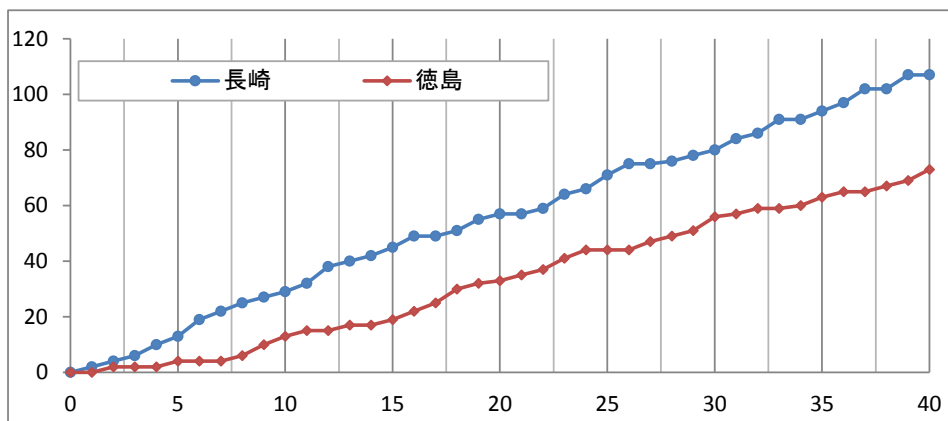
73 徳島

主審 甲斐 清 (鳥取)

副審 比嘉 涼太 (沖縄)

No. 18G-1 日時: 2014年10月18日(土) 10:00

会場: 三菱重工総合体育館



### 長崎

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 根岸 豪 (C)	17	0	6	5	2	5	2
5	中嶋 将貴	10	2	2	0	1	0	4
6	* 近藤 紘光	2	0	1	0	1	2	6
7	* 酒井 祐典	13	1	5	0	3	5	5
8	* 山田 悠太	5	1	0	2	2	2	3
9	* 庄司 亮介	21	2	6	3	2	5	1
10	吉田 雄治	6	0	2	2	2	4	1
11	今宮 翔太	0	0	0	0	0	0	0
12	陣内 純大	2	0	1	0	0	1	0
13	山田 航	3	1	0	0	0	0	3
14	藤田 俊祐	18	1	6	3	2	1	0
15	岡 隆輔	10	1	2	3	2	3	3
コーチ	岩本 清					0		
合計		107	9	31	18	17	28	28

### 徳島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 十川 佳司 (C)	15	3	2	2	5	7	3
5	市橋 信彦	6	0	3	0	1	0	0
6	澤口 拓	2	0	1	0	0	3	0
7	遠藤 一平	11	3	0	2	0	2	2
8	* 谷 健二郎	4	0	2	0	3	0	0
9	平石 侑督	9	0	4	1	0	1	0
10	中川 瑛貴	2	0	1	0	0	1	1
11	* 秦 雄一郎	5	0	2	1	4	4	6
12	* 蘆田 隆行	9	0	3	3	4	14	2
13	* 小笠 裕史	6	0	3	0	3	0	1
14	横川 俊樹	4	0	2	0	2	0	1
15	瀧川 恭志	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	吉岡 博文					0		
合計		73	6	23	9	22	32	16

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

1回戦、開催県長崎対徳島の戦い。両者ともマンツーマンでスタート。立ち上がりから長崎#4のファーストブレイクや#9のインサイドからの得点により流れをつかむ。一方徳島も#8の外角からのシュートで応戦。しかし、長崎#14の交代を皮切りに長崎#14のハイポストシュートなどの連続得点により勢いに乗る。徳島はタイムアウトをとり、セットプレーから徳島#5の得点で流れを断ち切るが、長崎#14のバスケットカウントや長崎#9のスリーポイント、長崎#4のフリースローによる得点で流れを止めることができない。徳島は第1Q残り2分2回目のタイムアウト。タイムアウト明け、徳島はオールコートマンツーマンディフェンスに切り替え、長崎は苦戦するも、長崎#10と#4のハイポストからのコンビネーションからの得点で落ち着きを取り戻す。最後は徳島#7のスリーポイントで長崎29-13徳島で第1Q終了。第2Qは長崎#6のアシストから#4のバスケットカウントでスタート。その後も長崎#10ミドル。長崎#4アシストからの長崎#15のファーストブレイクによりさらに勢いに乗る。徳島もオールコートマンツーマンディフェンスをしかけ、徳島#4ゴール下、徳島#7のスリーポイントなどの活躍で前半を57対33で終了。

第3Qも長崎は、長崎#8のスリーポイント、#9の1対1でリードを広げるも徳島のオールコートトラップディフェンスに苦戦をいられる。徳島も#4のスリーポイントをブザービーターでねじ込み第3Qを80対56で終える。第4Qはお互い一進一退の攻防を繰り返すが、最後は長崎#12の速攻からのレイアップ、#13のスリーポイントで勢いに乗り勝利。開催県長崎として、天皇杯獲得への第一歩となった。終始オールコートプレスをしかけた徳島の粘りも称えたい。

記載者 高田裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会





# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

成年男子1回戦

主審 堀内 純 (愛媛)

副審 大久保 好純 (長崎)

兵庫 74

○

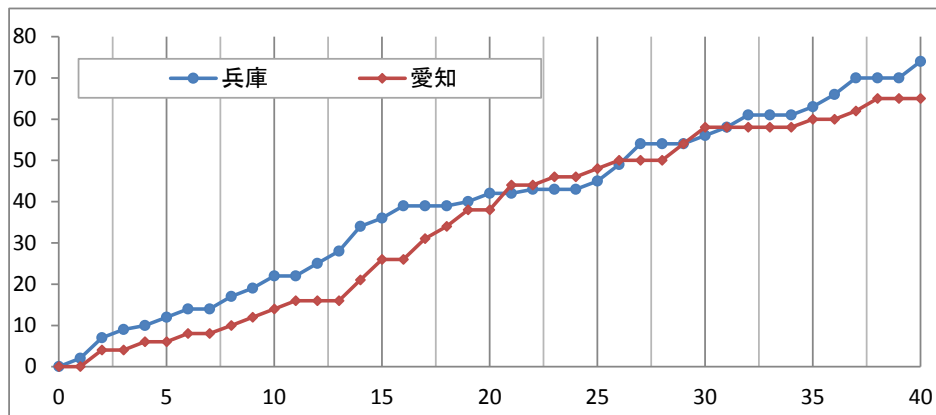
22 - 14  
20 - 24  
14 - 20  
18 - 7  
-

65 愛知

●

No. 18G-3 日時: 2014年10月18日(土) 13:30

会場: 三菱重工総合体育館



### 兵庫

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	長谷坂 健祐 (C)	4	0	0	4	0	3	1
5	* 黒川 拓馬	0	0	0	0	2	2	0
6	大山 拓也	6	0	3	0	0	1	1
7	香川 弘樹	13	2	2	3	4	2	3
8	熊谷 尚之	0	0	0	0	0	1	0
9	* 後藤 潤	8	0	4	0	1	1	1
10	野園 ダアト	9	0	4	1	1	4	1
11	* 渡邊 翔太	10	2	2	0	0	0	4
12	* 藤田 雅弥	5	0	2	1	4	1	1
13	森下 颯	11	2	2	1	1	1	0
14	村岸 龍	4	1	0	1	4	2	1
15	* 高松 英二	4	1	0	1	0	0	0
コーチ	吉本 為理					0		
合計		74	8	19	12	17	18	13

### 愛知

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	市野 裕也	0	0	0	0	1	2	0
5	* 多賀 雄一	2	0	1	0	2	1	0
6	* 柿本 直樹	0	0	0	0	3	6	3
7	福田 太郎	14	2	4	0	0	2	0
8	水 優樹 (C)	0	0	0	0	1	0	1
9	* 三浦 正和	10	2	1	2	4	6	2
10	岩田 淳	6	0	1	4	2	3	1
11	植地 亮太	5	1	1	0	1	2	1
12	* 村瀬 友吾	11	0	5	1	1	9	1
13	* 藤田 大貴	17	1	5	4	2	3	0
15	鳥居 孝匡	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	稲山 泰樹					0		
合計		65	6	18	11	17	34	9

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

### 戦評

1回戦、兵庫県対愛知県。両チームともに、マンツーマンディフェンスで試合開始。先に主導権を握ったのは兵庫県。#9、#12の正確なミドルシュートや#11の3Pシュートで得点を重ね、22-14とリードし、1Qを終了。2Q、愛知県は、#12のローポストにボールを集めて攻略を試みるが、兵庫県の堅いディフェンスを攻めあぐみ、31-16と逆にリードを広げられる。しかし、ここで、交代してコートに入った愛知県#11が試合の流れを変える。激しいディフェンスでボールを奪い、3Pシュートを決めチームに勢いを与える。流れをつかんだ愛知県はさらに、#7の連続3Pなどで、42-38と一気に4点差まで詰め寄り、前半を終了。

3Q開始直後、勢いに乗る愛知県は、#9の連続3Pで42-44とついに逆転に成功。このまま一気に突き離すかと思われたが、兵庫県は#7の3Pシュートなどで反撃し、必死に踏みとどまる。一進一退の攻防が続き、56-58と愛知県が2点をリードし、3Qを終える。勝負がかかった4Q、流れをつかんだのは兵庫県。#11のドライブインや、#13の3Pシュートなどで、着実に加点をし、逆転に成功する。一方、愛知県は、兵庫県の体を張った厳しいマークに苦しみ、なかなかシュートが決まらない。残り5分、63-58と5点差にリードを広げられたところで、愛知県はたまたまタイムアウト。愛知県は#13の3Pシュートなどで最後まで食い下がるが、兵庫県は、#10、#13、#9の正確なアウトサイドシュートで74-65と突き離し、試合終了。逆転に次ぎ逆転で、最後まで勝敗の行方の分からない白熱したゲームであった。

記者 石井 剛 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

成年男子1回戦

宮城 58

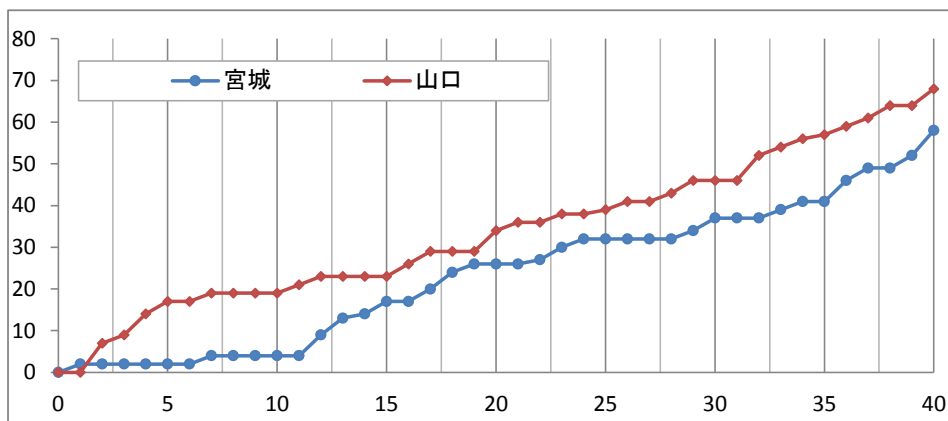
4 - 19  
22 - 15  
11 - 12  
21 - 22  
-

68 山口

主審 松本 究 (佐賀)

副審 御手洗 亮 (大分)

No. 18G-4 日時: 2014年10月18日(土) 15:15 会場: 三菱重工総合体育館



### 宮城

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 佐藤 濯 (C)	4	0	1	2	0	4	0
5	* 加藤 真	7	0	3	1	3	6	2
6	* 川崎 紘史	21	5	1	4	2	7	1
7	* 関野 尚也	0	0	0	0	0	0	0
8	* 五十嵐 裕也	2	0	1	0	0	0	0
9	大竹 史人	4	0	2	0	2	3	3
10	米田 一斗	3	1	0	0	2	3	1
11	荒川 洋平	-	-	-	-	-	-	-
12	加藤 宏太郎	-	-	-	-	-	-	-
13	柴田 寿浩	-	-	-	-	-	-	-
14	佐藤 琢	0	0	0	0	4	5	0
15	佐藤 卓哉	17	5	1	0	3	6	5
コーチ	水木 佳男					0		
合計		58	11	9	7	16	34	12

### 山口

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	隅廣 敬太郎 (C)	2	0	1	0	0	0	0
5	高橋 悠	1	0	0	1	3	3	0
6	西山 拓海	1	0	0	1	0	0	0
7	* 島袋 脩	14	1	5	1	4	10	3
8	入江 陽介	0	0	0	0	0	0	0
9	椎木 佑貴	0	0	0	0	1	3	1
10	* 上田 雅也	11	3	1	0	0	5	0
11	清水 翔平	0	0	0	0	2	3	1
12	* 宗野 克洋	9	0	3	3	2	6	4
13	宮儀 翔平	3	1	0	0	0	2	0
14	* 北本 久展	0	0	0	0	2	4	2
15	* 松元 一総	27	5	5	2	2	5	1
コーチ	枝折 健吾					0		
合計		68	10	15	8	16	41	12

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

1回戦、宮城県対山口県の対戦。両チームマンツーマンでスタート。序盤から山口は激しいディフェンスから確率のよいアウトサイドシュートで2対13とリードを奪う。残り7分宮城のタイムアウト。しかし、タイムアウトあけも山口#10、#15のアウトサイドシュートで加点。残り3分に宮城#6がインサイドで得点し、4対19で第1Q終了。第2Q序盤も山口のディフェンスに宮城は攻めることができない。しかし、宮城#15のスリーポイント、#9の外角からのシュート、そしてディフェンスからのインターセプトで加点し、じわりじわりと追いつける。残り5分、宮城は#10のスリーポイントで点差を5点に縮める。山口#7、宮城#15のスリーポイント、#5の華麗なインサイドプレーでお互い一進一退の攻防が続くが、第2Q終了間際、山口#15のスリーポイントで再度突き離し、26対34で前半を終える。

第3Q宮城は#6のスリーポイント、#5のインサイド、山口は#12のゴール下、#7の1対1からの得点などお互い一進一退の攻防が続く。また山口#15のスリーポイントに対し宮城#15がスリーポイントを決め返すなどお互い譲らない。37対46と山口リードで第3Q終了。第4Q山口#10の2連続スリーポイントで37対52と突き離す。宮城も#9の外角シュートで流れを止めるが、山口の#12のゴール下のパワープレーからの得点で宮城がタイムアウト。山口#7がブロックショットからそのまま速攻。巧みに相手をかかわして、ゴール下で加点し、流れを一気に引き寄せる。宮城も#15の得点で流れを引き寄せようとするが、山口#15の倒れながらのスリーポイントが決まり、宮城に主導権を握らせない。宮城は#6の3連続スリーポイントで応戦するも最終的に全員バスケで山口が58対68で逃げ切った。客席からの山口応援団の声援と選手が一つになって勝ち取った勝利でもあった。

記事者 高田裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会